

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

| | |
|--------------------|---|
| 研究領域名 | 太陽系外惑星の新機軸：地球型惑星へ |
| 領域代表者 | 林 正彦（東京大学・大学院理学系研究科・教授） |
| 研究期間 | 平成 23 年度～平成 27 年度 |
| 科学研究費補助金審査部会における所見 | <p>本研究領域は、1995 年の系外惑星発見以来、急速に発展してきた系外惑星科学をさらに飛躍的に発展させるために、天文学と惑星科学を融合し以下の研究を推進するものである（ハビタブルゾーンでの地球型および木星型惑星検出、木星型惑星の直接分光、原始惑星系円盤の高解像度観測、惑星およびその大気形成理論を統合し、系外惑星の起源、形成、進化解明を進める。）新しい観測手法を開発して系外惑星の検出・直接観測を行い、太陽系起源・惑星形成論から発展した理論モデルを用いて解釈すること、およびそれを更にハビタブル惑星の観測へと発展させることは、大変重要な研究課題であると考えられる。他の大型研究計画（例えばALMA計画）と緊密に連携することにより、研究領域の大いなる発展が期待される。</p> |